

第 1 号議案 2012 年度事業報告（案）

（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

I ひろしま NPO センター新たな出発—中期ビジョン策定

2011 年度～2012 年度にかけてビジョンと中期計画を策定した（別添参照）。

私たちが目指す社会像は、「環境」と「社会」と「経済」の調和した多様な「担い手」（企業も企業市民として、行政も、そして住民自治組織、社会福祉法人、学校法人、市民自身その他）が、連携・協働する安心安全でしなやかな強さをもつ持続可能な、そのような市民社会を描いている。

NPO を初めとする多様な主体が活動し、いきいきと活力あり、地域課題・社会課題を他人事とせず解決に向けた取り組みができるよう基盤整備を行っていくことが「ひろしま NPO センター」のミッションである。現状は、NPO 法制定から 15 年を迎えたが、人材面、財務面、自立的運営・マネジメント面など課題が多い。これら、人・モノ・金・情報が非営利組織にも循環する仕組みの整備が我々の目的とする基盤整備の方向性である。

II センターの運営に関する事項

1. 通常総会の開催

- 第 14 回 2012 年 5 月 27 日（日） 13:00～15:30 正会員 128 名中 75 名出席（うち 54 名委任）
 会 場 幟会館 2F 会議室 C（広島市中区八丁堀 3-1）
 内 容 (1)2010 年度事業報告・決算 (2)2011 年度事業計画・予算 (3)2011 年度役員変更

2. 理事会の開催

- 第 1 回 2012 年 4 月 24 日（火） 16:30～18:30 16 名中 10 名出席（他監事 1 名出席）
 会 場 幟会館 2 階会議室 A（広島市中区八丁堀 3-1）
 議 題 (1)2011 年度事業報告・決算 (2)2012 年度事業計画・予算
 (3)2012 年度の役員変更と推進体制 (4)その他（総会日程等）
- 第 2 回 2012 年 5 月 11 日（水） 15:00～17:30 15 名中 11 名出席
 会 場 幟会館 2 階会議室 A（広島市中区八丁堀 3-1）
 議 題 (1)2011 年度事業進捗状況及び、後期以降の事業予定
 (2)広島県新しい公共支援事業及び、次年度以降のセンターの方向性について
 (3)借入金の短期借入及び、財務状況
- 第 3 回 2012 年 6 月 21 日（木） 15:00～16:40 15 名中 8 名出席（他監事 1 名出席）
 会 場 幟会館 2 階会議室 A（広島市中区八丁堀 3-1）
 議 題 (1)2011 年度事業進捗状況と年度末・次年度にむけての事業計画（報告）
 (2)ひろしま NPO センター中期計画策定の件
- 第 4 回 2012 年 12 月 26 日（水）
 会 場 幟会館 2 階会議室 A（広島市中区八丁堀 3-1）
 議 題 (1)「ビジョン・中期計画」について
 (2)201 の進捗状況 2 年度事業状況について
 (3)市民ファンド「基金」設立の件
 (4)大学との連携について
 (5)2013 年度事業計画・予算作成の方針、及び事務局体制について

3. 組織運営（役員・プロジェクトチーム・事務局）

＜役員（理事・監事）＞2012 年度のガバナンスならびに役員体制

代表理事	安藤 周治	NPO 法人ひろしまね 理事長	県北部
副代表理事	三好 久美子	余暇生活開発士	県東部
副代表理事	山本 一隆	中国新聞社会事業団理事長	県西部
専務理事	中村 隆行	センター長	
常務理事	毛利 葉	事務局長（2013 年 1 月退任）	
	山本 祐二	事務局長（2013 年 1 月就任）	
	五百竹 宏明 伊木 剛二 児玉 宏 竹野 宗彦 茶山 ちえ子 鍋島 一仁 村田 民雄 北島 國廣	県立広島大学経営情報学部 准教授 広島商工会議所 総務部長 NPO 法人コーチズ 代表理事 中国経済連合会 部長 NPO 法人 WAC 広島ふれあいセンター 理事長 NPO 法人ひろしまレクリエーション協会 会長 NPO 法人 e&g 研究所 理事長 広島県労働者福祉協議会 事務局長（12 月末迄）	学識経験者 経済団体 NPO 経済団体 NPO NPO NPO 労働福祉団体
監事	久笠 信雄 藤川 晴基	弁護士 税理士・広島経済大学 非常勤講師	

＜プロジェクトチーム＞

＜事務局＞ ※センター職員の人材育成

(1) スタッフ会の開催

(2) 事務局体制 2012 年 4 月 1 日（日） 16 名（常勤 15 名、非常勤 1 名）

2013 年 3 月 31 日（日） 14 名（常勤 13 名、非常勤 1 名）

中村隆行 センター長

毛利 葉 事務局長（2012 年 12 月末で退任、2013 年 3 月 31 日退職）

山本祐二 2013 年 1 月より事務局長

森脇竜一 2013 年 1 月より事務局次長

松村 渉 プロジェクトマネジャー 広島 NGO ネットワーク事務局

樽山尚幸

岡 真理

田中尚美（2013 年 3 月 31 日 期間満了退職）

小原真奈（2013 年 3 月 31 日 期間満了退職）

長尾真里枝（2013 年 3 月 31 日 期間満了退職）

松尾健司（2013 年 3 月 31 日 期間満了退職）

檀上鎮孝（2012 年 12 月 31 日 退職）

下稲浩二（2012 年 11 月 31 日退職）

環境省「中国環境パートナーシップオフィス」運営業務（EPO ちゅうごく勤務、2011 年 4 月 1 日～）

松原裕樹（EPO 事務局長）、狩野美紀子（非常勤）

高橋恵子（2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日 期間満了退職）

＜中間支援組織活性化懇談会＞

平成 24 年度広島県新しい公共の場づくりのためのモデル事業の 1 つとして広島県と共同で申請・採択された「中間支援組織強化事業」（広島県補助事業）における会議体として設置し、中間支援組織としてのひろしま NPO センターの今後のあり方や強化の方向性について検討をすすめ、「中期ビジョン案」を作成し組織強化につながる事業について検討を行った。

委員長	井上 善海	広島大学大学院社会科学研究科マネジメント専攻教授	学識経験者
委員	大西 健丞 富野 岳士 森信 秀樹 井原 邦夫 藤永 隆司 中村 隆行	NPO 法人ピースウインズ・ジャパン 代表理事 NPO 法人国際協力 NGO センター 事務局次長 広島経済同友会 常任幹事 株式会社日本政策金融公庫広島支店国民生活事業こくきん創業支援センター中国 所長 広島県環境県民局県民活動課 課長 NPO 法人ひろしま NPO センター センター長	NPO 等 NPO 等 企業 金融機関 県 NPOC

＜大学連携懇談会＞

委員長	三好久美子	ひろしま NPO センター副代表理事	NPO
副委員長	福田祐美子	広島工業大学教授	学識経験者
委員	竹野宗彦 林 義之 平尾順平 五百竹宏明 河野敏信 藤永隆司	中国経済連合会部長 中国地域ニュービジネス協議会常務理事 NPO 法人ひろしまジン大学 広島県立広島大学准教授 広島県環境県民局学事課課長 広島県環境県民局県民活動課 課長	NPO 等 NPO 等 企業 金融機関 県 県
オブザーバー	金谷信子 牛来	広島市立大学教授 (株) ソアラサービス代表取締役社長	

＜子育てサポート人材育成・活用事業実行委員会＞

委員長	香川恭子	e—子育てセンター 代表	NPO
委員	七木田 敦 若林 紀乃 三好久美子 富田 雅子 中岡 博美 中本 巧	広島大学 広島文化学園大学 広島女学院大学非常勤講師 広島大学教育研究補助職員 呉市すこやか子育て協会ひろひろ・ば 広島県健康福祉局こども家庭課専門員	

Ⅲ センターの事業に関する事項

1. 情報収集提供事業

(1) ニュースレター等の発行

「ニュースレター」の発行ができていないが、広島県内 NPO 法人及び会員に対して、全国及び広島県内の NPO に関する情報、法・税制改正問題、主催事業の案内等、有用な情報を定期的に提供・送付（11 回）。

(2) ブログの運営（イベントの案内や当日の報告内容等を掲載）

年 度	アクセス数 ※■=2,000 件	累 計
2008 年 (H20)	□ (1,350 件)	1,350 件
2009 年 (H21)	■□ (2,500 件)	3,850 件
2010 年 (H22)	■■ (4,150 件)	8,000 件
2011 年 (H23)	■■■ (6,000 件)	14,000 件

(3) ひろしま NPO 情報ステーション (HP) の運営

年 度	アクセス数 ※■=2,000 件	累 計
2001 年 (H13)	■■■■■ (8,000 件)	8,000 件
2002 年 (H14)	■■■■■■■ (10,000 件)	18,000 件
2003 年 (H15)	■■■■■■□ (11,000 件)	29,000 件
2004 年 (H16)	■■■■■■□ (11,000 件)	40,000 件
2005 年 (H17)	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■ (24,000 件)	64,000 件
2006 年 (H18)	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■ (30,000 件)	94,000 件
2007 年 (H19)	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■ (28,000 件)	122,000 件
2008 年 (H20)	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■ (28,000 件)	150,000 件
2009 年 (H21)	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■□ (37,000 件)	187,000 件
2010 年 (H22)	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■ (40,000 件)	227,000 件
2011 年 (H23)	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■□ (49,000 件)	276,000 件
2012 年 (H24)	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■ (旧 H P) (42,000 件)	298,000 件
2012 年 (H24)	■■■■■■■ (新 H P) 「H25.1～H25.3」 (10,000 件)	

＜HP 掲載内容＞①ひろしま NPO センター設立のミッション、②団体概要、③役員、④事業紹介
⑤助成金情報、⑥行政情報、⑦全国的な NPO 情報、⑧イベント情報、⑨NPO 法制度 等

- ・その他 HP による情報発信：「中国地域 CB/SB サポートセンター」HP により CB/SB に関する情報を提供
「EPO ちゅうごく」HP をリニューアル。環境に関する情報を提供
「広島ツーリズム大学」HP 開設。ツーリズム大学の情報を提供
子どもと体験情報サイト「ういずきっず」HP を開設
子育て支援ボランティア及び、受入団体等の登録・マッチング
NPO サービスグラントの HP を活用
サービスグラント広島のプロボノ及び、受入 NPO 等の登録・マッチング

（４）団体情報の収集・開示推進事業

- ・「団体情報ライブラリー（NPO・企業・行政等）」を事務所内に開設（事業報告書のファイリング資料等）
- ・日本財団 CANPAN と連携した地域公益ポータルサイト「もみじコミュニティ」の登録団体
- ・「地域・テーマ公益ポータル推進プロジェクト会議」全国会議・フォーラム：11 月 12 日（土）東京
※広島県新しい公共支援事業「中間支援機能強化事業」における「コーディネート機能の強化」事業
・マッチングのためのデータベースの設計及び、HP のリニューアルについて検討

2. サポート事業

（１）拠点提供事業 共同事務所の運営 広島市との協働事業

「NPO・市民活動団体向けの活動拠点を提供する共同事務所事業」（2009 年 4 月～2013 年 3 月）。

入居団体間ネットワーク構築事業「寄合」の開催

2012 年度入居団体は、以下の 8 団体。期間：2 年（1 年づつ 2 回延長可能で最大 4 年）

入居団体名	入居時期	退出時期
ブンメシ THEATER PROJECT ひろしま	2012 年 3 月 22 日	2012 年 3 月 22 日退去
中国留学生会	2012 年 4 月 6 日	2012 年 10 月 31 日退去
舞台芸術製作室 無色透明	2010 年 3 月 1 日	2012 年 5 月 31 日退去
特定非営利活動法人広島市観光アシスタント協会	2011 年 7 月 1 日	2012 年 9 月 30 日退去
特定非営利活動法人日本クリエイター協会	2012 年 5 月 1 日	2013 年 3 月 31 日退去
夢現大学	2009 年 11 月 1 日	2013 年 10 月 31 日
特定非営利活動法人ひろしまジン大学	2010 年 1 月 1 日	2013 年 12 月 31 日
広島ハーネスの会	2010 年 6 月 12 日	2013 年 6 月 11 日⇒延長可
一般社団法人広島県華僑華人総会	2011 年 4 月 15 日	2014 年 4 月 14 日⇒延長可
特定非営利活動法人ひろしまヒューマン	2011 年 6 月 1 日	2013 年 5 月 31 日⇒延長可
特定非営利活動法人キッズ NPO	2012 年 6 月 1 日	2014 年 5 月 31 日
Free The Children 広島支部	2012 年 11 月 1 日	2014 年 10 月 31 日
特定非営利活動法人ヒロシマネットワーク	2012 年 12 月 6 日	2014 年 12 月 5 日

（２）相談事業

・「幟会館事務所」における相談事業（随時）…NPO 法人設立、助成金申請相談、財務会計等の相談に対応。

内 容	件 数	団体数	内 容	件 数	団体数
法人設立相談	25	8	運営相談	21	10
資金調達相談	21	6			
助成金申請相談	4	10	計	71 件	34 団体

（３）資金【協賛・寄付】・什器等提供事業

※広島県新しい公共支援事業「中間支援機能強化事業」における「資金循環を活性化する仕組みの構築」

①ひろしま NPO 活動奨励賞 ※今年度は協賛企業がなく、休止。

②中国ろうきん NPO 寄付システム 緊急配分

◆中国ろうきん NPO 寄付システム [運営経費 20%以内→次年度、市民ファンド移行予定]

2012 年度は、昨年度に引き続き、「通常枠」に加え、東日本大震災救援活動に対する「特別枠」を設定し、2013 年 2 月 15 日（水）〆切で募集し、2013 年 2 月 20 日（水）事務所で審査委員会を開催。「通常枠」は応募団体 21 団体中 12 団体に 90 万円、「特別枠」は応募団体 2 団体中 2 団体に 10 万円、総額 13 団体に 100 万円の助成を決定。2013 年 3 月 3 日（日）広島 YMCA2 号館大会議室にて、助成金配分式を行った。

挨拶・授与：桶屋安史（中国労働金庫広島県営業本部上席調整役）

<審査委員>（長）金谷信子（広島市立大学国際学部准教授）、三好久美子（余暇開発士）

山本恵由美（もりメイト倶楽部 Hiroshima 副会長）

中村隆行（NPO 法人ひろしま NPO センター専務理事）

<通常枠>

分野	配分団体（NPO 法人）	所在地	配分額
保健・医療・福祉	NPO 法人陽だまり	東広島市	100,000
	NPO 法人みんなのわが家	広島市佐伯区	100,000
社会教育	NPO 法人寺子屋生涯共育学園	広島市南区	50,000
まちづくり	NPO 法人西城町さとやま交流館	三次市	50,000
農山漁村・中山間地域支援	NPO 法人瀬戸内里海振興会	広島市中区	50,000
学術・文化芸術・スポーツ	NPO 法人福山スポーツ元気ネットワ ーク ヘッズアップ	福山市	50,000
環境保全	NPO 法人西中国山地自然史研究会	山県郡北広島町	100,000
国際協力	NPO 法人ベトナム友の会ーヒロシマ	広島市安佐北区	50,000
男女共同参画	NPO 法人ひろしま女性 NPO センター 未来	廿日市市	50,000
子どもの健全育成	NPO 法人 CAP 広島	広島市中区	100,000
	NPO 法人子育てサポートあんず	三原市	100,000
	NPO 法人安芸ソーシャルサポートの 会	安芸郡海田町	100,000
合計	12 団体		700,000

＜特別枠＞ 東日本大震災救援活動（広島県内での被災者支援活動を含む）

配分団体（NPO 法人）	所在地	実施期間／実施場所（内容など）	配分額
NPO 法人西城町さとやま交流館	三次市	2013 年 4 月 1 日～2014 年 3 月 31 日／福島県楢葉町、宮城県仙台市荒浜地区（食糧支援、サッカー交流、クリスマス交流）	50,000
NPO 法人宅老サービス事業所ぴっばら	三原市	2013 年 8 月 1～6 日／広島県（福島県の被災家族との交流会）	50,000
合計	2 団体		100,000

③ひろしま NPO サポート倶楽部

◆ひろしま NPO サポート倶楽部 [運営経費 20%→次年度市民ファンド移行予定]

2012 年度は、昨年度に引き続き、2013 年 2 月 15 日（水）〆切で募集し、2013 年 2 月 20 日（水）事務所で選考委員会を開催。応募団体 14 団体中 8 団体に総額 70 万円の助成を決定。2013 年 3 月 3 日（日）広島 YMCA2 号館大会議室にて、助成金配分式を行った。

挨拶・授与：五百竹宏明（県立広島大学経営情報学部准教授）

＜選考委員＞（長）五百竹宏明（県立広島大学経営情報学部准教授）

金谷信子（広島市立大学国際学部准教授）、三好久美子（余暇開発士）

山本恵由美（もりメイト倶楽部 Hiroshima 副会長）

中村隆行（NPO 法人ひろしま NPO センター専務理事）

配分団体（NPO 法人）	所在地	配分額
NPO 法人さおりひろば ネットワークセンター広島 「SAORI Peace weave 2013」	広島市西区	50,000
NPO 法人三次おやこ劇場「ありがとうフェスタ ～三次おやこ劇場 30 周年。NPO 取得 10 周年記念事業」	三次市	100,000
NPO 法人宅老サービス事業所ぴっばら 「福島ー広島・多世代交流会（平和学習）」	三原市	100,000
NPO 法人頼まちづくり工房 「伝統の食文化を守ろうー若者と地域のつながりづくり」	福山市	150,000
NPO 法人青竜スポーツクラブ「体操チャレンジ教室」	三原市	50,000
NPO 法人アイエヌイーおおあさ 「夏の都市農村交流のコンテンツ造成事業」	山県郡 北広島町	50,000
NPO 法人キッズ NPO 「地域で支える新しい学童保育事業」	廿日市市	100,000
NPO 法人メセナ SUN-CLUB 学びの森 「子どもの自然体験学習会：五感で楽しむ里山の 12 ヶ月」	東広島市	100,000
合計	7 団体	700,000

※県立広島大学ソーシャルアントレプレナーシップ研究会で、

ひろしま NPO サポート倶楽部助成団体状況調査実施 2013 年 3 月 3 日授与式で報告

④広島県の海環境づくりプロジェクト 2012「海環境保全活動助成金」

◆(株)アサヒビール「広島県の海環境づくりプロジェクト」[次年度、市民ファンドへ移行予定]

運営委員会（助成審査委員会） 第 1 回 5 月 9 日（水）、第 2 回 6 月 20 日（水）、
第 3 回 3 月 18 日（月）

委員：中越信和（広島大学大学院教授）＜委員長＞、金谷信子（広島市立大学准教授）

青山秀雄（広島県環境県民局環境政策課主幹）、松原裕樹（EPO ちゅうごく）

オブザーバー：山下伸夫（アサヒビール株式会社）、松尾健司（環境カウンセラー）

事務局：中村隆行・毛利葉・田中尚美（NPO 法人ひろしま NPO センター）

「広島県の海環境づくりプロジェクト 2012（2012 年 7 月 1 日～2013 年 6 月 30 日）」

申請件数 35 件、うち 23 団体 20 事業を採択 総額約 355 万円

①海をまもる地域活動 上限 10 万円

豊町公衆衛生推進協議会「海岸アダプト清掃」	呉市	100,000
江田島市立三高小学校 「里海学習『三高の浜をきれいに 大作戦！！』」	江田島市	100,000
豊浜町公衆衛生推進協議会 「①町内クリーン作戦、②海の生物調査」	呉市	100,000
瀬戸田生口地区子ども会育成連合協議会 「2012 年度海はみんなの宝物大作戦」	尾道市	100,000
廿日市市大野 10 区自治会「鳴川海岸一斉清掃」	廿日市市	78,000
吉名町協働のまちづくりネットワーク 「吉名港平方沖海岸清掃作業」	竹原市	100,000
NPO 法人けごや元気丸「長郷浜クリーン作戦」	呉市	52,000
NPO 法人フリースクール・グロービー 「海の大切さを知り、海を守る子どもたちの育成活動」	安芸郡 海田町	100,000
永田川カエル倶楽部「地域の子どもと歩む永田川河川環境保全・再生プロジェクト」	江田島市	71,000
NPO 法人江田島カヌークラブ 「江田島海岸クリーンアップ作戦」	江田島市	84,000
鹿川小学校子ども会育成会 「第 4 回鹿川湾の海環境再生プロジェクト」	江田島市	95,000
一般社団法人国公立ゼミナール「京橋川キレイにし隊」	広島市南区	73,000
阿多田島漁業協同組合「阿多田島漁協海浜清掃」	大竹市	50,700
呉市音戸地区公衆衛生推進協議会「海辺の教室」	呉市	83,000
福山市立内海小学校 「『ふるさと田島 大発見！』一田島の海を守り隊」	福山市	100,000
尾道市立浦崎小学校「浦崎里海学習」	尾道市	69,000

②海をつくる本格活動 上限 50 万円

NPO 法人瀬戸内里海振興会「在来海浜植物種による瀬戸内海の家浜ビ オトープ再生活動」	広島市中区	500,000
海の会「海の会『広島湾クリーン作戦』」	広島市中区	500,000

③海につながる県内活動 上限 20 万円

宮島の磯・生き物調査団「磯・干潟の生物調査及び周辺の植生、景観 調査及び漂着ゴミの調査と回収」	広島市南区	200,000
NPO 法人瀬戸内里海振興会「海のリフレッシュ活動（海中、海底ゴミ、 海岸、公園、道路等、漂着ゴミ）」	広島市中区	200,000
瀬戸内海 宇治島クラブ「サニーアイランドクリーン作戦」	福山市	200,000
NPO 法人自然体験活動推進センター 「海を守るための源流清掃～川と森の学習～」	広島市中区	200,000
エコロジー研究会ひろしま「24 年度太田川せせらぎ夢学習塾」	広島市中区	200,000

2012 年度提案事業

広島県キャンプ協会	広島市中区	200,000
-----------	-------	---------

合計

23 団体 24 事業	3,555,700
-------------	-----------

<2011 年度提案事業の実施>

6 月 10 日（日）宮島一周クリーン作戦（NPO 法人自然環境ネットワーク SAREN 主催）

参加：176 名 協力・後援：21 団体 助成金額 3,486,190 円

8 月 2 日（木）県庁記者クラブで記者発表

⑤新たな企業との連携プログラム

◆株式会社 NTT ドコモ中国支社「いのちの電話、チャイルドラインへの寄付」 運営経費 10%

配分団体	所在地	配分額
社会福祉法人広島いのちの電話	広島県広島市	100,000
社会福祉法人岡山いのちの電話	岡山県岡山市	100,000
社会福祉法人島根いのちの電話	島根県松江市	100,000
社会福祉法人鳥取いのちの電話	鳥取県鳥取市	100,000
ひろしまチャイルドライン	広島県広島市	100,000
チャイルドラインびんご	広島県福山市	100,000
チャイルドラインおかやま	岡山県岡山市	100,000
チャイルドラインつやま	岡山県津山市	100,000
チャイルドラインやまぐち	山口県宇部市	100,000
チャイルドライン岩国ステーション	山口県岩国市	100,000
チャイルドラインしまね	島根県松江市	100,000
チャイルドラインうさぎのみみ	鳥取県倉吉市	100,000
合計 12 団体		1,200,000

◆株式会社 NTT ドコモ中国支社

「子どものケータイ利用に関わるフィルタリング促進活動への寄付」 運営経費 10%

配分団体	所在地	配分額
NPO 法人呉こども NPO センターYYY	広島県呉市	100,000
NPO 法人 0-99 おかやまおしえてネット	岡山県岡山市	100,000
NPO 法人おもしろファーム	山口県宇部市	100,000
NPO 法人ほっと・すぺーす 21	島根県松江市	100,000
NPO 法人こども未来ネットワーク	鳥取県倉吉市	100,000
合計 5 団体		500,000

◆SAVE JAPANプロジェクト

株式会社損保ジャパン、日本 NPO センターとの連携事業「SAVE JAPAN プロジェクト」

NPO 法人西中国自然史研究会へ 50 万円を助成

6 月 30 日（土）古市せせらぎ公園「いきもの観察会」

8 月 4 日（土）北広島町東八幡原「草刈り」

8 月 11 日（土）安芸太田町加計「水生生物観察会」

9 月 15 日（土）北広島町東八幡原「生物観察会」

◆フレスポ西風新都社会貢献活動～本・CD 提供による寄付配分事業～

大和リース株式会社

12 月 16 日（日）、初回寄付受入額 6,098 円

⑥広島県共同募金会「社会課題解決プロジェクト」

◆広島県共同募金会「社会課題解決プロジェクト」 1 月～3 月実施への協力

- ・社会課題解決プロジェクトへの参加呼びかけのため、チラシの作成・発送、電話・FAX 等での呼びかけを実施した。
- ・共感をえられる助成金申請書の作成を目的に、ファンドレイジングの 7 つの原則やステップについてサポートセミナーを、10 月に広島会場・福山会場の 2 か所で実施した。
- ・想いが伝わる募金用紙の作成を目的に、伝わるチラシづくりのコツというテーマで、チラシづくりの基本、色、キャッチコピーなどについてサポートセミナーを、11 月に広島会場・福山会場の 2 か所で実施した。
- ・サポートセミナー後、随時、助成金申請書・募金用紙の作成について電話やメールにて相談を受け、アドバイスを実施した。・その他、社会課題解決プロジェクト実行委員と共に、団体訪問をし、ヒアリングを行った。さらに、1～3 月の期間には、主に電話連絡にて、各団体の進捗状況の確認、アドバイス等を実施した。それらを記録するため、団体のカルテを作成した。

⑧第 3 回 NPO の広報活動支援事業（株）アスカネットとの共同事業

◆プロジェクト実施の背景と趣旨

多くの NPO 団体において、地域活動や社会課題に取り組んでいるその活動が、第三者の目に触れる機会は非常に少ないと言えます。そこで、広島県内において積極的に活動を行っているが、広報を思うように行っていない NPO 団体の広報活動を支援するプロジェクトを、アスカネットの持つ写真集制作のノウハウと、ひろしま NPO センターの持つ中間支援のノウハウの協働で実施することになりました。

◆募集期間：平成24年5月18日～平成24年6月11日

◆支援内容

①アスカネットの持つ写真集制作のノウハウを使った写真集の提供

	Aプラン	Bプラン
サイズ	12.3cm × 12.3cm	18.0cm × 18.0cm
ページ数	20 ページ	20 ページ
部数	50 部	25 部

②写真集制作のノウハウを伝えるセミナーの開催

③企画発表会・写真セミナーの実施

④寄贈式の実施

3. 啓発・研修事業

（1）広島県新しい公共支援事業

・非営利組織のマネジメント力強化研修

広島県では、「新しい公共支援事業」の一環として、非営利組織（特定非営利活動法人、公益法人等）の経営基盤の強化を図るため、経営戦略、組織運営、経営資源のマネジメント、経営者に求められる能力の向上、成果評価等、非営利組織のマネジメント力を強化する研修を実施。

このたびの研修は、広島県が広島大学大学院社会科学研究科マネジメント専攻と連携し、一橋大学大学院商学研究科の協力を得て実施した。

第1回 コース1[基礎編]①非営利組織を取巻く環境と期待される役割&②経営の基本知識

日程：2012年6月9日（土）10:00～15:00

会場：広島大学東千田キャンパス 207 教室

講師：築達延征氏（広島大学大学院社会科学研究科教授）

出席者 午前：38名・午後：40名

第2回 コース1[基礎編]③経営組織論

日程：2012年6月23日（土）10:00～15:00

会場：広島大学東千田キャンパス 402 教室

講師：沼上幹氏（一橋大学大学院 商学研究科長・教授）

出席者 午前：48名・午後：47名

第3回 コース1[基礎編]④経営戦略論

日程：2012年6月30日（土）10:00～15:00

会場：広島大学東千田キャンパス 402 教室

講師：延岡健太郎氏（一橋大学 イノベーション研究センター長・教授）

出席者 午前：44名・午後：43名

第4回 コース2[応用編]①マーケティングマネジメント

日程：2012年7月7日（土）10:00～15:00

会場：広島大学東千田キャンパス 402 教室

講師：村松潤一氏（広島大学大学院社会科学研究科研究科長・教授）

出席者 午前：40名・午後：38名

第5回 コース2[応用編]②情報マネジメント

日程:2012年8月4日(土)10:00～15:00

会場:広島大学東千田キャンパス 402 教室

講師:神岡太郎氏(一橋大学大学院 商学研究科教授)、加藤陽一氏(ゲスト)

出席者 午前:36名・午後:37名

第6回 コース2[応用編]③人材マネジメント

日程:2012年8月18日(土)10:00～15:00

会場:広島大学東千田キャンパス 402 教室

講師:原口恭彦氏(広島大学大学院 社会科学研究科)

出席者 午前:41名・午後:41名

第7回 コース2[応用編]④財務マネジメント

日程:2012年8月25日(土)10:00～15:00

会場:広島工業大学広島校舎 201 教室

講師:星野一郎氏(広島大学大学院社会科学研究科教授)

出席者 午前:40名・午後:37名

第8回 コース3[展開編]①問題解決能力

日程:2012年9月1日(土)10:00～15:00

会場:広島大学東千田キャンパス 402 教室

講師:星野一郎氏(広島大学大学院社会科学研究科教授)

出席者 午前:38名・午後:37名

第9回 コース3[展開編]②リーダーシップ能力

日程:2012年9月8日(土)10:00～15:00

会場:広島大学東千田キャンパス 402 教室

講師:橋場剛氏(ビジネスコーチ株式会社 専務取締役)

出席者 午前:36名・午後:34名

第10回 コース3[展開編]③コーチング能力

日程:2012年10月6日(土)10:00～15:00

会場:広島大学東千田キャンパス 402 教室

講師:安永雄彦氏(株式会社島本パートナーズ 代表取締役社長)

出席者 午前:32名・午後:32名

第11回 コース3[展開編]④ファシリテーション能力

日程:2012年10月13日(土)10:00～15:00

会場:広島大学東千田キャンパス 402 教室

講師:堀公俊氏(堀公俊事務所 代表)

出席者 午前:33名・午後:31名

第12回 コース4[実践編]インターンシップの成果共有

日程:2012年11月17日(土)13:00～17:00

会場:広島大学東千田キャンパス 402 教室

講師:藤岡芳郎氏(広島大学大学院社会科学研究科客員教授)

出席者 午前:23名・午後:20名

第 13 回 コース 5[評価編]①非営利組織の事業評価

日程:2012 年 12 月 1 日(土)10:00～15:00

会場:広島大学東千田キャンパス 402 教室

講師:粉川一郎氏(武蔵大学社会学部メディア社会学科教授)

出席者 午前:33 名・午後:30 名

第 14 回 コース 5[評価編]②③非営利組織の組織評価

日程:2012 年 12 月 8 日(土)10:00～15:00

会場:広島国際会議場地下 2 階小会議室ラン

講師:片山信彦氏(「エクセレント NPO を目指そう」市民会議・理事)

出席者 午前:32 名・午後:30 名

・インターンシップの実施

コース 4[実践編]としてインターンシップを行うこととし、期間は 2012 年の 10 月 14 日から 11 月 11 日までの間で 1 人 2 週間以内を原則として実施。

派遣先は東京の先進的な特定非営利活動法人等とし、受講生 50 名の中から希望する 6 名が参加。

派遣期間終了後の 11 月 17 日の講義で、他の受講生(団体)を対象としたインターンシップ成果報告を実施。成果と情報の共有に努めた。

・非営利組織の発信力強化研修

広島県では、「新しい公共支援事業」の一環として、非営利組織（特定非営利活動法人、公益法人等）がミッションを達成するため、社会へ働きかけて効率的に寄付等の支援を集められるよう、社会への発信力強化や、支援獲得の戦略策・技術等について取得できる研修を実施。

受講生：40 団体 （66 名）

新しい公共支援事業「非営利組織の発信力強化研修」

■第 1 回 戦略的ファンドレイジングを学ぶ！

日 程：2013 年 1 月 24 日（木）13：00～17：00

会 場：TKP ガーデンシティ広島 3F「ブルーダイヤ」

講 師：イノウエ ヨシオ氏（株式会社ファンドレックス・プロデューサー）

菅 文彦氏（株式会社ファンドレックス パートナー・コンサルタント）

出席者：47 名（35 団体）／66 名中（40 団体中）※出席率 87%（団体）

新しい公共支援事業「非営利組織の発信力強化研修」

■第 2 回 団体のミッション・ビジョンを再確認！

日 程：2013 年 1 月 25 日（金）9：00～16：00

会 場：TKP ガーデンシティ広島 3F「ブルーダイヤ」

講 師：鵜尾 雅隆氏（株式会社ファンドレックス 代表取締役）

イノウエ ヨシオ氏（株式会社ファンドレックス・プロデューサー）

菅 文彦氏（株式会社ファンドレックス パートナー・コンサルタント）

出席者：46 名（36 団体）／66 名中（40 団体中）※出席率 90%（団体）

新しい公共支援事業「非営利組織の発信力強化研修」

■第 3 回 共感を集める広報発信力

日 程：2013 年 2 月 21 日（木）13：00～17：00

会 場：TKP ガーデンシティ広島 2F「アメジスト」

講 師：イノウエ ヨシオ氏（株式会社ファンドレックス・プロデューサー）

菅 文彦氏（株式会社ファンドレックス パートナー・コンサルタント）

出席者：45 名（34 団体）／66 名中（40 団体内）※出席率 85%（団体）

新しい公共支援事業「非営利組織の発信力強化研修」

■第 4 回 共感CM研修 1

日 程：2013 年 2 月 22 日（金）9：00～16：00

会 場：TKP ガーデンシティ広島 2F「アメジスト」

講 師：イノウエ ヨシオ氏（株式会社ファンドレックス・プロデューサー）

菅 文彦氏（株式会社ファンドレックス パートナー・コンサルタント）

出席者：42 名（33 団体）／66 名中（40 団体内）※出席率 83%（団体）

新しい公共支援事業「非営利組織の発信力強化研修」

■第 5 回 共感CM研修 2／WEB活用

日 程：2013 年 3 月 14 日（木）13：00～17：00

会 場：TKP ガーデンシティ広島 2F「アメジスト」

講 師：イノウエ ヨシオ氏（株式会社ファンドレックス・プロデューサー）

菅 文彦氏（株式会社ファンドレックス パートナー・コンサルタント）

出席者：35 名（26 団体）／66 名中（40 団体内）※出席率 65%（団体）

新しい公共支援事業「非営利組織の発信力強化研修」

■第 6 回 企業訪問／広報／振り返り

日 程：2013 年 3 月 15 日（金）9：00～16：00

会 場：TKP ガーデンシティ広島 2F「アメジスト」

講 師：イノウエ ヨシオ氏（株式会社ファンドレックス・プロデューサー）

菅 文彦氏（株式会社ファンドレックス パートナー・コンサルタント）

出席者：31 名（27 団体）／66 名中（40 団体内）※出席率 68%（団体）

・中間支援組織強化事業

(1)事業の趣旨

県域で非営利組織への支援を行う、特定非営利活動法人ひろしま NPO センター（以下「NPO センター」）を強化するため、昨年度に引き続き、同センターに「中間支援組織活性化懇談会」を設置し、中間支援組織としての今後のあり方や強化の方向性等について議論・検討を進めた。

(2)事業の概要

■「中間支援組織活性化懇談会」＜モデル事業の会議体＞の設置・開催

学識経験者、NPO 等（2 団体）、企業、金融機関、NPO センター、県、あわせて 7 名で構成する「中間支援組織活性化懇談会」を 5 回開催。

実施事業の進捗状況を報告し、助言いただくとともに、昨年度より検討してきたミッション実現にむけたひろしま NPO センター「ビジョン・中期計画」を平成 24 年 11 月に策定した。

■実施事業

●資金循環を活性化する仕組みの構築

NPO センターに企業や個人の助成金や寄附金等が集まり、NPO へ効果的に配分される等、資金循環が活性化する仕組みの構築について検討した。

具体的には、

- ①NPO センターでこれまで実施してきた助成・寄付配分事業を洗い出し、新たな連携企業を広げ、資金調達活動をすすめた。
- ②寄付税制の受け皿として、全国的な市民ファンドの先進事例を学びながら、財団設立の準備を行い、公益認定申請を視野に入れた「一般財団法人コミュニティ未来創造基金ひろしま」の登記申請を行った。

●NPO 等のネットワーク機能強化、リーディングプロジェクトの実施、円卓会議の開催

前年度の「NPO 等のネットワーク機能強化」の取り組みを発展させ、NPO センターとして訴求力の高いテーマを設定し、NPO を結集して課題解決への取り組みを立ち上げるとともに、在京のトップリーダー等を含めた円卓会議を開催し、社会に対する発信力を高めた。

具体的には、

- ①分野別の意見交換会を開催しつつ、国際協力等のリーディング事業を立ち上げた。
- ②3 回にわたって、円卓会議を開催した。

●コーディネーター機能の強化

NPO とボランティアの各種資源のマッチングや資金調達、NPO の課題解決の助言等ができるコーディネーター、ファンドレイザーの養成を行い、実施した。

・スタッフの養成

- ①NPO センターのスタッフが、広島県とともに開催した「非営利組織のマネジメント力強化研修」、「非営利組織のマネジメント力強化研修上級コース」、「非営利組織の発信力強化研修」をはじめ、県外で開催された研修会等を受講した。
- ②NPO センターの中堅職員 3 名が、経営に優れる在京の NPO 等で実地研修を行った。
- ③プロボノ等の人材募集・仲介等（NPO 向け、プロボノワーカー向け説明会、マッチング団体審査等）を行うコーディネーターによって、活動がすすんだ。

・人的資源のサポート

- ①NPO のボランティア受入ニーズと企業・個人の社会貢献ニーズ等との情報をマッチングするためのデータベースを構築し、支援情報の登録をすすめた。
- ②公益性の高い情報発信強化のためのホームページを作成した。

・NPOと大学の連携推進プロジェクト事業

NPO と大学の連携推進シンポジウム、NPO へのインターンシップの 2 本柱で事業を実施した。

NPO と大学の連携推進シンポジウムは平成 25 年 3 月 25 日（月）に実施した。

午前中は分科会を実施し、分科会 1「ソーシャルな人材育成プログラムの開発」、分科会 2「地域・NPO・企業・大学が連携した地域の課題解決」、分科会 3「学生と NPO の連携～インターンシップ・ボランティア～」の 3 つのテーマで実施した。

午後のシンポジウムでは、県立広島大学赤岡学長、エリザベト音楽大学学長川野氏、広島女学院大学学長長尾氏による、NPO と大学の連携についての期待を込めた提言をいただいた。講演では、「大学と NPO の連携による地域づくり・人づくり」をテーマに、NPO 法人ユースビジョン代表赤澤氏に講演をいただいた。

さらに、シンポジウムでは、広島県内の事例として、NPO 法人コミュニティリーダーひゅーるぽん理事長川口氏、広島市立大学芸術学部中村氏、NPO 法人あいあいねっと理事長原田氏、NPO 法人もりメイト倶楽部副会長山本氏に活動の紹介と、「NPO と大学の連携による成果と課題」というテーマで、当センター副代表理事の三好氏のコーディネート、コメンテーターとして赤澤氏に参加いただき、シンポジウムを行った。

NPO へのインターンシップでは、中長期インターンシップとして 4 団体・4 大学の連携が実施され、多文化共生に関わる活動、人形劇に関わる芸術活動、伝統的な季節の行事や地域づくりをテーマに文化を取り上げたラジオ番組作成、障がいを持つ子どもに対するホースセラピーへの参加など、多岐に渡り実施した。また、短期インターンシップでは、平和貢献・国際交流を行う団体、障がいを持つ子どもの団体、環境保全等に関わる団体、子育て支援に関わる団体などへ学生が参加した。

・NPOシンポジウム

2013 年 1 月 20 日（土）14:30～17:00、会場：

参加 120 名（うち事務局関係者 13 名）NPO 59 名、企業 5 名、行政 3 名、個人他 35 名

- ・「ひろしま NPO 大賞」受賞式ならびに受賞者による活動報告

原田佳子（NPO 法人 あいあいネット 理事長）

- ・基調講演 東ちづる氏「心豊かに自分らしく生きる～つながる よりそう～」

- ・パネルディスカッション：「共感とつながりで社会を拓く」

コーディネーター：安藤周治（NPO 法人 ひろしま NPO センター代表理事）

パネリスト：東ちづる氏（女優、一般社団法人「Get in tuch!」理事長、

NPO 法人スペシャルオリンピックス日本・広島 理事）

大竹美喜 氏（アフラック（アメリカン生命保険株式会社）創業者・最高顧問

公益社団法人日本フィランソロピー協会理事）

渡部朋子氏（NPO 法人 ANT-Hiroshima 理事長）

（2）高校生の『起業家精神』育成事業（2012 年 5 月 7 日～2013 年 3 月 31 日）【広島県教育委員会＜委託＞】

1. 「高校生の『起業家精神』育成事業」の趣旨

県立高等学校の生徒に対し、実際の起業活動に向けたビジネスプラン作成セミナー（以下「セミナー」という。）を実施し、将来、職業人として必要とされる自立心、創造力及びチャレンジ精神などの起業家精神を持ち、地域社会や産業の活性化に貢献できる実践力のある人材を育成する。

2. 委託業務の内容

(1) 業務内容

委託する業務の範囲は、受講者募集及び受講申込みの取りまとめを除く、会場の確保、広報、受講者の所属する高等学校との連絡調整、諸準備等を含む本セミナーの実施及び常時の相談窓口の設置等の研修フォローに係るすべての業務、また「起業実践活動を行う学校(グループ)」への起業経営支援を行うコーディネイト／アドバイス業務。

(2) コンセプト

本事業の受講生に対し、起業家精神に必要な 3 つのコンセプトをカリキュラムに入れていきます。

①地域経済の課題からビジネスの種(アイデア)を調べ/考え抜く力“創造”

②チームで一つの目的/目標を達成していくチームワーク力“協働”

③どんな事にも熱い気持ちで、一歩が踏み出せる実行力“情熱”

上記のコンセプトにより、地域社会や産業の活性化に貢献できる人材の育成をしていく。

(3) 復興支援型地域社会雇用創造事業 ソーシャルビジネスネットワーク大学

東北仕事復興リーグ 中国キャンパス

(1) 目標と実績

社会的企業人材創出インターンシップ事業

・目標人数 : 20人 [研修参加者数 : 19人 / 研修修了者数 : 19人] 進捗率=95%

就業及び起業者数 : 6人

活動支援金対象者数 : 0人

(2) 事業の活動実績

社会的企業人材創出インターンシップ事業

・研修プログラム数 : 2回

・研修参加者数 : 19人

(4) 広島市・交流体験型観光の企画・開発業務【広島県緊急雇用対策基金事業＜委託＞】

1 目的

湯来地区の交流体験型観光を推進し誘客促進を図るため、空き家等を活用した、自然を感じる体験や田舎暮らし体験（グリーンツーリズム）を通して、多様な地域資源を活用した地域住民との交流事業を展開するとともに、広島ツーリズム大学を開講し、地域の自然や文化にじっくりとふれる”体験型観光”の推進やインタープリテーションプログラム（自然ガイドツアー）企画・演出家など地域の活性化を担う人材を育成する。

2 事業期間

平成24年4月1日から平成25年3月31日

3 業務内容

(1) 広島ツーリズム大学の開講

【設置学科】 観光まちづくり学科

【開講年月日】 平成24年7月21日

【修学期間】 平成24年7月～平成24年12月（毎月1回 土・日・祝の2日間）

（本科生）全6回 （聴講生）希望する回のみ

【入学対象者】 ツーリズムに関心がある方。地域や資格などは問わない。

【学費】 本科生 : 30,000円(6回分) 聴講生 : 7,000円(1回あたり)

【教員体制】 学長 立教大学観光学部 教授 安島 博幸
 副学長 (株)松波計画事務所 代表取締役 松波 龍一
 教員 広島修道大学商学部 教授 富川 久美子
 イデアパートナーズ(株)代表取締役社長 井手 修身
 NPO法人吉備野工房ちみち 理事長 加藤 せい子
 NPO法人日本コツリズムセンター 理事 志賀 誠治
 環境教育事務所Leaf 代表 河野 宏樹
 NPO法人ひろしまジン大学 理事長 平尾 順平

【講義場所・時間】 ① 講義場所
 第1回～第2回：幟会館 2階 C会議室
 第3回～第6回：広島市湯来交流体験センター 会議室
 ② 講義時間 (各回とも同一、但し第4回は日・祝日開催)
 《1日目》 土曜日 1時限目 13:30～15:00
 2時限目 15:15～16:45
 《2日目》 日曜日 1時限目 10:30～12:00
 2時限目 13:00～14:30

【実施体制】 湯来のまち再生プロジェクト協議会
 (構成：NPO法人ひろしまNPOセンター、NPO法人湯来観光地域づくり公社、
 湯来町観光協会、五日市商工会等)

【受講人数】
 本科生 7名 (定員30名)
 聴講生 13名
 《参考》参加者 内訳

(2) 空き家活用した交流体験イベントの実施等

① 実施内容

ア) 空き家活用検討会の設置 (空き家の現状把握・課題抽出・活用策の検討)

- 湯来のまち再生プロジェクト協議会 第1回全体会議開催 平成24年5月24日(木)
- 湯来のまち再生プロジェクト協議会 第2回全体会議開催 平成24年7月11日(水)
- 湯来のまち再生プロジェクト協議会 第3回全体会議開催 平成24年9月20日(木)
- 湯来のまち再生プロジェクト協議会 第4回全体会議開催 平成24年12月20日(木)
- 湯来のまち再生プロジェクト協議会 第5回全体会議開催 平成25年3月8日(木)

イ) 空き家活用フォーラム2012の開催

- ① 実施内容 空き家の再生に取り組む、3地域の市民団体・NPO・学生団体が事例を紹介。
 2部では、会場から事前に提出された空き家再生に関する質問をテーマにパネルディスカッションを行った。
- ② 期 日 平成25年3月16日(土)
- ③ 場 所 国民宿舎湯来ロッジ(多目的ホール)
- ④ 入場者数 74名
- ウ) 空き家活用事業
- ① 実施内容 イベント開催・空き家貸出・1泊2日の田舎体験等
- ② 期 間 平成24年4月～平成25年3月

③ 場 所 空き家3ヶ所程度活用

- ◆ 6月22日（金）～23日（土） ホテルのヒカリ音楽会（お抹茶 de お茶会）
- ◆ 6月29日（土）～30日（日） ホテルのヒカリ音楽会（お抹茶 de お茶会）
- ◆ 7月28日（土） 湯来町で夏休み自由研究しよう！！
- ◆ 8月4日（土） 湯来町で夏休み自由研究しよう！！
- ◆ 8月18日（土） 湯来町で夏休み自由研究しよう！！
- ◆ 8月25日（土）～26日（日） 縁日で遊ぼう
- ◆ 10月21日（日） 古民家アートワーク・草木染め&ファッションショー
- ◆ 10月28日（日） 古民家のお月見会（お抹茶で落語、篠笛を聴く）
- ◆ 11月17日（土） 古民家で聴きたい音楽会
- ◆ 2月23日（土） あったかスープコンサート
- ◆ 3月24日（日） 湯来町 春の探検隊（自分だけの植物絵の具を作ろう）

④ 入場者人数 785名（述べ人数）

4 期待した成果、実績等

(1) 期待した主な成果

このたび、2つの業務を実施することによって、湯来地区を中心とした中山間地域をはじめとする様々な地域において、交流体験型観光の推進や地域の活力の担い手となる人材の発掘。

(2) 評価

業務に携わった関係者の中から、次のような活動に取り組む方が出るなど、地域の活力を担う人材育成の成果が表れている。

ア 3軒の古民家を活用して、様々なイベントを開催していく毎に、地域の方々の関わりが増していき、自ら企画の段階から共に活動ができ交流の輪が広がった。

イ 空き家再生フォーラムを開催したことによって、地域の方々の意識も変わってきたように思える。

ウ 湯来地区以外の方々から古民家を活用したイベントに参画したいという声が上がってきている。

エ 地域住民が中心となって地元自治体との協働し地域活性につながるイベント等を検討している。

4. 成果…古民家を活用したグループの横の繋がり、湯来西小学校（5～6年生）の課外授業の場として活用。
ツーリズム大学1・2期生の有志で湯来地区マップ作成、NPO 法人設立・地元自治体との協働を検討。

(5) 子育てサポート人材育成・活用事業

(1) 事業の目的

幅広い世代や様々な技能を有する人等を対象とした子育てサポート人材の育成、活用が可能となる仕組みづくりを行うことで、多様な保育、子育て支援へのニーズにきめ細かく対応できる社会づくりを促進することを目的とする。

(2) 主たる対象者

- ①子育て支援に携わることを希望する人
- ②子育て支援に携わる人材の育成が可能な機関等
- ③育成した人材を活用する子育て支援関係機関等

(3) 事業の内容

- ①子育て支援に携わることを希望する人材の確保
- ②人材を育成するために実施する、子育て支援等に関する研修の企画、運営

- ・多くの地域の人々が受講できる研修等を企画
- ・概ね月に 1 回程度実施し、1 回の研修で 10 人程度受講
- ③育成した人材の活用場の確保
(想定される主な子育て支援関係機関等)
 - ・ファミリーサポートセンター・子育て支援センター・保育所・子育てサポートステーション
- ④育成した人材と子育て支援関係機関とのマッチング
- ⑤上記①～⑤の業務を持続可能な取組とするための、子育て支援機関等を構成員とするネットワークの整備等

(6) 中国環境パートナーシップオフィス (EPO ちゅうごく) 運営業務 【環境省＜請負＞】

1 環境パートナーシップ推進業務

中国 5 県の各主体をつなぐコーディネーターとして、行政機関や中間支援組織等と緊密に連携し、情報収集、情報発信、意見交換を行い以下の業務を実施した。

ア 様々な主体間における連携の促進

行政、市民、NPO、企業など様々な主体間の環境パートナーシップを促進するため、以下の業務を行った。

- ①環境課題等の解決に係る支援体制の検討ミーティングの開催
- ②他団体主催会議への参加
- ③山陽地方における環境パートナーシップのニーズ把握調査

イ 環境パートナーシップ形成の推進等に係る人材育成

環境に関わる広域ネットワークの構築と主体間の環境パートナーシップ形成を推進するための人材育成に取り組むため、インターンシップの受け入れを行った。

2 情報センター業務

各主体相互の協働に繋がる環境保全、環境教育の情報収集と提供を行うとともに、協働事例の発掘、発信を行うため以下の事業を行った。

- ①情報の収集
- ②情報の発信
- ③ホームページの管理・運営

3 地域活動支援業務

中国地域の環境課題の理解を目的とした場の提供や、NPO 等の活動基盤の強化を目的とした助言・相談等を行うために以下の業務を行った。

- ①会議・交流等の場の提供
- ②NPO 等活動の基盤強化
- ③助言・相談業務
- ④環境教育等促進法基本方針案に対する意見徴収業務
- ⑤環境政策コミュニケーション支援業務
- ⑥事業型環境 NPO・社会的企業中間支援スキーム事業に関する情報収集業務

4 地球環境パートナーシッププラザ (GEOC) 及び他の地方環境パートナーシップオフィス

(各地方 EPO) との連携・協力

- ①平成 24 年度全国環境パートナーシップオフィス連絡会議に出席し、関係者との意見交換等を行った。
- ②EPO ネットワークの協働・共通業務

5 中国環境パートナーシップオフィスの維持・管理

- ①人員・スタッフ：2 名を常勤とし、
- ②オフィスの開館時間等：原則火～土曜日の 10:00～19:00
- ③スタッフミーティングの設定
- ④中国環境パートナーシップオフィスの運営に係る会議
- ⑤スタッフ研修会
- ⑥オフィス備品の整備
- ⑦政府情報システム棚卸し作業

7 平成 24 年度管理運営計画及び中期管理運営計画の策定

- ・標記管理運営計画を中国四国地方環境事務所担当官と協議のうえ、作成し提出した。【4 月】

8 その他

- ①中国四国地方環境事務所等関係機関との連携

4. 調査・研究：政策提言に関する事業

- (1) NPO に関する税・法人制度改革のうごき
 - ・NPO 法改正、及び税制改正⇒広島県・広島市の認証・認定事務及び、条例化等に向ける
- (2) NPO 法人会計基準普及のうごき
 - ・「NPO 会計基準協議会」 ※世話団体として参加 専門委員として五百竹参加
- (3) 「環境教育促進法基本方針に関わる意見交換会」

5. ネットワーク・連携推進事業

- (1) 地域別・テーマ別の NPO の課題の共有化やネットワーク化の推進
 - ・資源循環（寄付・助成・寄贈等）
 - ①アサヒビール株式会社中国統括本部「広島県の環境保全プロジェクト」
 - ②株式会社 NTT ドコモ中国支社
 - ③株式会社アスカネット「NPO 広報活動支援事業」
 - ④三井住友海上火災保険株式会社の什器備品提供
- (5) 広島県共同募金会・社会福祉協議会との連携を促進する。
 - ・広島県共同募金会「社会問題解決プロジェクト」への協力（継続）
 - ・広島県共同募金会助成事業「家庭と地域のための育ちあうコミュニケーション講座」
 - NPO 法人キャリアネット広島との連携事業
- (6) 障害児者と手をつなぐ県民会議への参加
- (7) 大学との連携
 - ・次代の親育て促進ネットワーク構築推進事業（広島県こども家庭課）
 - ・UE-net(大学環境ネットワーク協議会)の運営支援（広島県庁との連携による学生ネットワークへの助言等）
- (8) 労働組合・労働福祉団体、ワーカーズコープ等、協同組合との連携を図る。
 - 広島県労働者福祉協議会、中国労働金庫広島県本部、(財) 広島県勤労者福祉財団と連携
 - 協同労働の協働組合法制定に向けるネットワーク…2013 年の国際協同組合年にむけて
- (9) 東日本大震災に関わる被災地・被災者支援を多様な主体と連携しすすめていく。
 - ・広島市被災者支援ボランティア本部（事務局：広島市社協ボランティア情報センター）の構成団体

6. その他の事業

○会としての引受・参加の事項

- ・すべて障害児者と市民を結ぶひろしま県民会議の設立呼びかけ団体
- ・広島県プラチナ世代支援協議会 参加

○会議・NPO 関連行事などへの参加

- ・中国 5 県中間支援センター連絡会議
第 1 回 2012 年 10 月 13 日（木）岡山市市民会館 参加：中村、毛利（中国労働金庫参加）
第 2 回 2012 年 3 月 16 日（金）幟会館 2 階会議室 C 参加：中村、毛利

○委員の派遣

- 安藤周治 広島県生涯学習審議会 委員
広島県新しい公共運営委員会 委員
広島県ピース・アーチ・ひろしまプロジェクト実行委員会委員
国土交通省水源地域活性化調査報告会アドバイザー
水源地域振興アドバイザー事業島根県尾原ダム担当
生物多様性に関する円卓会議メンバー
総務省 ICT 地域活性化懇談会委員
水源地域アドバイザー派遣事業佐賀県吉野ヶ里町担当
国土交通省水に親しむ旅コンクール審査会審査委員長
広島県生涯学習審議会副委員長
過疎問題懇談会構成員
国土交通省水源地域リーダー養成研修会講演・アドバイザー
東城町活性化懇談会アドバイザー
銀山街道沿線会議委員
中国 5 県地域づくり連携サミットアドバイザー
- 三好久美子 広島県医療費適正化計画検討委員会 委員
- 中村隆行 内閣府地域活性化伝道師
日本 NPO 学会（第七期）理事
広島県平和貢献ネットワーク協議会 幹事
広島県ピース・アーチ・ひろしまプロジェクト実行委員会 NGO 部会委員
広島県共同募金会社会課題解決プロジェクト運営委員
広島県社会福祉協議会被災者生活支援ネットワーク委員
自治労広島県職員労働組合 地域政策センター 運営委員
呉市市民協働推進委員会 委員
三原市市民活動推進委員会 委員
尾道市市民協働推進委員会 委員
安芸太田町協働まちづくり推進委員会副委員長
広島市男女共同参画審議会 委員
広島市災害時ボランティア連絡調整会議 委員
広島市社会福祉協議会広島市ボランティア情報センター 運営委員

毛利 葉 広島県社会福祉協議会地域福祉部会常任委員会 委員
全労済地域貢献助成事業 西日本審査委員
広島市公募提案型協働モデル事業 審査委員
中国ろうきん NPO 助成金制度 選考委員
NPO 法人日本ネットワークセキュリティ協会セキュリティ対策推進協議会 調査研究委員
平木 久恵 広島市都市計画審議会 委員
橋本美知子 広島市緑化推進審議会 委員

第 3 号議案 2013 年度役員の退任と補選の件

理 事	安藤 周治	NPO 法人ひろしまね
理 事	五百竹 宏明	県立広島大学経営情報准教授
理 事	児玉 宏	NPO 法人コーチズ代表理事
理 事	竹野 宗彦	中国経済連合会部長
理 事	茶山 ちえ子	NPO 法人 WAC 広島ふれあいセンター理事長
理 事	中村 隆行	NPO 法人ひろしま NPO センターセンター長
理 事	三好 久美子	余暇開発士
理 事	村田 民雄	NPO 法人 e&g 研究所 理事長
理 事	山本 一隆	社会福祉法人中国新聞社会事業団理事長
理 事	北島 國廣	広島県労働者福祉協議会 事務局長
理 事	伊木 剛	広島商工会議所 総務部長

退 任 理 事 毛利 葉 NPO 法人ひろしま NPO センター副センター長

監 事 久笠 信雄 弁護士

監 事 藤川 晴基 税理士

第 4 号議案 2013 年度事業計画（案）

（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

I 方針—中期経営戦略のロードマップの策定・実施

（1）2012 年度、広島県新しい公共支援事業「中間支援強化事業」の中で策定した「中期ビジョン 2012」にもとづき、2013 年度内に「中期経営戦略」ロードマップを策定し、3 年計画（2013～2015 年度）で中間支援組織としての支援機能強化を図る。

（2）コア事業の①公益財団法人コミュニティ未来創造基金ひろしまの早期設立と基金募集活動の開始、②大学連携の拠点整備と人材育成プログラムの開発・実施を行う。

（3）認定 NPO 法人格取得に向けた準備

（4）リーディング事業への取り組み強化

II センターの運営に関する事項

1. 通常総会の開催（第 15 回）

日 時 2013 年 5 月 11 日（土） 13:30～16:00

会 場 幟会館 2 階会議室 C（広島市中区八丁堀 3-1）

議 題 (1)2012 年度事業報告・決算 (2)中期ビジョン策定及び 2013 年度事業計画・予算
(3)2013 年度役員変更と補充

2. 理事会の開催

第 1 回 2013 年 4 月 22 日（月） 16:00～18:30

会 場 県民文化センター

議 題 (1)2012 年度事業報告・決算 (2)2013 年度事業計画・予算
(3)2013 年度の役員変更と推進体制 (4)その他（総会日程等）

第 2 回 2013 年 5 月 11 日（土曜）（総会開始前に開催）

会 場 県民文化センター（予定）

議 題 (1)2012 年度事業報告・決算 (2)2013 年度事業計画・予算
(3)2013 年度の役員変更と推進体制 (4)その他

※今後の開催予定 第 3 回 2013 年 7 月 第 4 回 2013 年 10 月

第 5 回 2014 年 1 月 第 6 回 2014 年 3 月

III センターの事業に関する事項

（1）情報収集・提供に関する事業

目標：情報発信により、活動の共感を促進し信用力を向上させるとともに、各団体の情報のデータベース化を通じ、各団体に適切なコンサルティングを実施し、力量アップを図っていけるようにするために情報を分析していく。また、有用な情報を提供できるように収集発信提供を行っていく。

①データベース構築・活用、IT による業務改善の推進

- ・社会的課題、NPO 等の新たなデータベース構築による、情報集積・分析・発信
- ・NPO 等の情報開示・情報発信の促進

<自主事業等事業>

- ・日本財団 CANPAN と連携し開設した地域公益ポータルサイト「もみじコミュニティ」の活用・充実

②情報発信・ホームページの充実—有用な情報の受発信

- ・団体情報・イベント情報等の提供
 - ・年次報告書・各種事業報告書、リーフレット（団体紹介）の発行
 - ・ニュースレター・情報誌の発行
 - ・HP を充実、ブログ等ソーシャルメディアの運用、メールマガジン（登録会員）の活用
 - ・中国地域コミュニティビジネスサポートセンターHP による CB/SB に関する情報を提供
- <助成・補助・委託等事業>
- ・「子育てサポート人材育成・活用事業」広島県健康福祉局こども家庭課
 - ・「中国環境パートナーシップオフィス（EPO ちゅうごく）運営業務」環境省中国四国地方環境事務所
- ニュースレター、HP、ブログ、メールマガジンによる情報提供

（２）団体への運営支援事業

目的：資源循環システムの構築稼働により資金面での基盤を強化していく。

①資金の調達・配分のしくみの構築と参加・賛同する市民・NPO・企業等の募集

「サポート資源循環システム」の稼働と認定 NPO 法人格取得準備

ファンドレイジングとグラントメイキングの人材育成と機能の充実

<資金>市民、企業等からの寄付による資金提供・配分事業の開発

- ・「ひろしま NPO 活動奨励賞」、「ひろしま NPO サポート倶楽部」の再構築
- ・「ろうきん NPO 寄付システム」、中国労働金庫との協働事業を実施。「災害救援」分野の活用。

県職労、中国 5 県の中間支援組織、社会福祉協議会、広島県共同募金会、日本 NPO センター、日本財団 CANPAN との連携

- ・株式会社アサヒビール・広島県との提携事業「うまい！を明日へ！プロジェクト」による「広島海の環境保全活動助成事業」
- ・株式会社 NTT ドコモ中国支社との提携事業（寄付仲介事務等）
- ・大和リース「フレスポ西風新都社会貢献活動」プロジェクト
- ・NPO 法人日本 NPO センター等、寄付・助成プログラムへの協力
- ・損保ジャパン「SAVE JAPAN」（環境）、
- ・明治製菓ホールディングス「お菓子寄贈」（障がい児支援）

<什器備品>

- ・「ひろしまイーパーツ PC リユース事業」、PC 再生団体の募集。
- ・NPO 等への什器備品の仲介

<人材・ノウハウ>

- ・NPO 法人サービスグラントと連携したサービスグラント広島事業の展開
- ・プロボノ登録と受入 NPO 募集・マッチング
- ・アスカネット「NPO 広報活動支援事業」の発展

<拠点提供>

- ・「NPO・市民活動団体拠点提供事業」広島市市民局市民活動推進課との連携
- ・入居団体間ネットワーク構築事業「寄合」の開催

<助成・補助・委託等事業>

- ・広島県共同募金会「社会課題解決プロジェクト」
- ・広島県共同募金会「限界集落支援と若者就労支援マッチング事業」
- ・広島県「新しい公共支援事業成果取りまとめ業務」

- ・広島市「交流体験型観光の企画・開発業務」
- ・広島県「非営利組織を支援する地域資源循環システム創造事業」
- ・緊急雇用対策事業

（３）啓発・研修事業

①相談・NPO 経営等の個別支援及び、講師派遣

②NPO・人材育成に関する研修・セミナー

NPO 認証・認定、NPO 会計・税務、情報発信・IT 活用、経営・組織運営、分野別課題相談等
 ＜助成・補助・委託等事業＞

- ・「中国環境パートナーシップオフィス（EPO ちゅうごく）運營業務」環境省中国四国地方環境事務所
- ・「非営利組織のマネジメント力強化研修事業」

（４）調査・研究・政策提言事業、ネットワーク・連携推進事業

①県内 NPO を代表し、社会的課題や存在意義を発信するとともに、多様な主体との連携の機会を広げる。

- ・地域別・テーマ別の NPO の課題の共有化やネットワーク化の推進
 環境系、国際交流系、子育て支援系等の NPO 支援とネットワーク形成、及びネットワークへの参加
 市町における NPO 支援とネットワーク形成、及びネットワークへの参加
- ・各政党・会派・議会との連携を図る。
- ・広島県及び市町自治体、中間支援組織との連携
- ・企業・経済団体との連携をすすめる。
- ・広島県共同募金会・社会福祉協議会との連携を促進する。
- ・大学・高校等教育研究機関との連携を促進する。
- ・労働組合・労働福祉団体、ワーカーズコープ等、協同組合との連携
- ・東日本大震災に関わる被災地・被災者支援を多様な主体と連携しすすめていく。

②NPO に関する政策提言・アドボカシー

- ・NPO 法・税制度改正にむけた提言
- ・「NPO 会計基準協議会」（世話団体）普及・相談活動 「学習会」「個別相談会」の開催

（５）人材育成—大学連携推進事業

県民文化センター（鯉城会館）6F に大学連携室を開設。人材育成、調査研究、等の研究機能（シンクタンク）と教育機能（人材育成）を強化する拠点としていく。

- ・非営利組織のマネジメント研修
- ・発信力強化セミナー
- ・まちづくりリーダー養成講座
- ・国際貢献人材育成セミナー

（６）ファンドレイジング強化事業

- ・共感のファンドレイジング研修
- ・ファンドレイザー養成講座
- ・クラウドファンディング
- ・MISSION BOX

（7）リーディング事業の推進

- ・国際貢献リーディングー広島の NGO のネットワークを構築
- ・中山間地支援ー限界集落の課題を検討ー社会実験
- ・生活支援のネットワーク化推進事業
- ・災害救援復興支援のためのネットワーク構築事業

（8）財務基盤強化事業

- ・財務基盤強化に向けて一会員増強の取り組み
- ・NPO 法人との協働事業の開発・実施

（9）その他の事業

- ①一般財団法人から公益財団法人化へむけての公益認定申請

活 動 計 算 書

自 平成24年 4月 1日 至 平成25年 3月31日

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

(単位：円)

科 目	金 額		
【経常収益】			
【受取会費】			
正会員受取会費	585,000		
賛助会員受取会費	137,000	722,000	
【受取寄付金】			
受取寄付金	10,514,340	10,514,340	
【受取助成金等】			
受取助成金	3,736,200		
受取補助金	27,800,000	31,536,200	
【事業収益】			
事業 収益	1,774,874		
受託事業収益	65,036,998	66,811,872	
【その他収益】			
受取 利息	3,250		
雑 収 益	1,214,814	1,218,064	
経常収益 計			110,802,476
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
給料 手当(事業)	28,502,050		
臨時雇賃金	122,000		
通 勤 費(事業)	1,746,309		
法定福利費(事業)	5,265,250		
人件費計	35,635,609		
(その他経費)			
売上 原価	226,570		
事業 支出	62,488		
業務委託費	10,041,514		
諸 謝 金	14,611,348		
印刷製本費(事業)	1,917,159		
会 議 費(事業)	219,979		
旅費交通費(事業)	5,842,368		
車 両 費(事業)	130,760		
通信運搬費(事業)	1,549,481		
消耗品 費(事業)	1,842,601		
図書購読費(事業)	817,556		
修 繕 費(事業)	148,570		
水道光熱費(事業)	27,926		
リース料 (事業)	430,350		
地代 家賃(事業)	870,800		
賃 借 料(事業)	2,837,389		
保 険 料(事業)	49,665		
租税 公課(事業)	2,574,541		
研 修 費	46,000		
支払手数料(事業)	142,477		
支払助成金	1,500,907		
支払寄付金	8,253,120		
雑 費(事業)	26,047		
その他経費計	54,169,616		
事業費 計		89,805,225	

【管理費】			
（人件費）			
給料 手当	10,405,250		
通 勤 費	467,030		
法定福利費	1,413,783		
福利厚生費	23,610		
人件費計	12,309,673		
（その他経費）			
印刷製本費	635,031		
会 議 費	44,614		
旅費交通費	2,744,884		
車両燃料費	1,211		
通信運搬費	713,950		
消耗品 費	2,308		
水道光熱費	510,468		
地代 家賃	457,480		
賃 借 料	1,115,618		
広告宣伝費	416,330		
新聞図書費	21,970		
保 険 料	42,396		
諸 会 費	184,000		
リース 料	365,528		
租税 公課	13,550		
支払手数料	157,700		
管理 諸費	289,800		
支払 利息	56,003		
雑 費	253,766		
その他経費計	8,026,607		
管理費 計		20,336,280	
経常費用 計			110,141,505
当期経常増減額			660,971
【経常外収益】			
過年度損益修正益		109,746	
経常外収益 計			109,746
【経常外費用】			
過年度損益修正損		221	
経常外費用 計			221
税引前当期正味財産増減額			770,496
法人税、住民税及び事業税			71,000
当期正味財産増減額			699,496
前期繰越正味財産額			979,754
次期繰越正味財産額			1,679,250

※ その他の事業は実施を規定していません。

貸 借 対 照 表

平成25年 3月31日 現在

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

(単位：円)

科 目	金 額		
《資産の部》			
【流動資産】			
(現金・預金)			
現 金	1,268,520		
小口 現金	753		
普通 預金	11,078,627		
定期 積金	50,000		
現金・預金 計	12,397,900		
(売上債権)			
未 収 金	16,824,886		
売上債権 計	16,824,886		
(棚卸資産)			
棚卸 資産	1,122,222		
棚卸資産 計	1,122,222		
(その他流動資産)			
前払 費用	928,272		
立 替 金	431,711		
仮 払 金	1,913,572		
その他流動資産 計	3,273,555		
流動資産合計		33,618,563	
【固定資産】			
(有形固定資産)			
什器 備品	493,254		
有形固定資産 計	493,254		
(無形固定資産)			
電話加入権	152,880		
ソフトウェア	140,132		
無形固定資産 計	293,012		
固定資産合計		786,266	
資産の部 合計			34,404,829
《負債の部》			
【流動負債】			
買 掛 金	29,088		
未 払 金	7,740,080		
前 受 金	162,521		
短期借入金	18,000,000		
預 り 金	6,793,890		
流動負債 計		32,725,579	
負債の部 合計			32,725,579
《正味財産の部》			
【正味財産】			
前期繰越正味財産額		979,754	
当期正味財産増減額		699,496	
正味財産 計			1,679,250
正味財産の部 合計			1,679,250
負債・正味財産合計			34,404,829

財 産 目 録

平成25年 3月31日 現在

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター
(単位：円)

科 目	金 額		
《資産の部》			
【流動資産】			
(現金・預金)			
現 金	1,268,520		
小口 現金	753		
広島銀行普通預金	9,819,840		
労働金庫普通預金	1,258,787		
定期 積金 (広銀)	50,000		
現金・預金 計	12,397,900		
(売上債権)			
未 収 金	16,824,886		
売上債権 計	16,824,886		
(棚卸資産)			
棚卸 資産	1,122,222		
棚卸資産 計	1,122,222		
(その他流動資産)			
前払 費用	928,272		
立 替 金	431,711		
仮 払 金	1,913,572		
その他流動資産 計	3,273,555		
流動資産合計		33,618,563	
【固定資産】			
(有形固定資産)			
什器 備品			
パーティション	91,104		
プリンター (故障中)	402,150		
有形固定資産 計	493,254		
(無形固定資産)			
電話加入権	152,880		
ソフトウェア	140,132		
経理ソフト	126,000		
Office・ウィルス対策	14,132		
無形固定資産 計	293,012		
固定資産合計		786,266	
資産の部 合計			34,404,829
《負債の部》			
【流動負債】			
買 掛 金	29,088		
未 払 金	7,740,080		
前 受 金	162,521		
短期借入金	18,000,000		
預 り 金	6,793,890		
流動負債 計		32,725,579	
負債の部 合計			32,725,579
正味財産			1,679,250

平成25年 9月18日
上記は財産目録に相違ない。

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

代表理事 安 藤 周 治

財務諸表の注記（別紙） 事業別損益の状況

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

平成25年 3月31日 現在

[税込]（単位：円）

科目	自主事業	助成・補助事業	受託事業	事業部門計	管理部門
I 経常収益					
受取会費					722,000
受取寄付金		10,514,340		10,514,340	
受取助成金等		31,536,200		31,536,200	
事業収益	1,774,874			1,774,874	
受託事業収益			65,036,998	65,036,998	
受取収益・雑収益					1,218,064
経常収益計	1,774,874	42,050,540	65,036,998	108,862,412	1,940,064
II 経常費用					
(人件費)				0	
給料 手当(事業)		5,493,600	23,008,450	28,502,050	10,405,250
臨時雇賃金			122,000	122,000	
通 勤 費(事業)		269,510	1,476,799	1,746,309	467,030
法定福利費(事業)		904,194	4,361,056	5,265,250	1,413,783
福利厚生費				0	23,610
人件費計	0	6,667,304	28,968,305	35,635,609	12,309,673
(その他経費)					
期首棚卸高	1,177,012			1,177,012	
仕 入 高	171,780			171,780	
期末棚卸高	△ 1,122,222			△ 1,122,222	
事業 支出		38,788	23,700	62,488	
業務委託費	1,141,514	2,250,018	6,649,982	10,041,514	
諸 謝 金	68,770	7,055,225	7,487,353	14,611,348	
印刷製本費(事業)		636,700	1,280,459	1,917,159	635,031
会 議 費(事業)	18,060	131,430	70,489	219,979	44,614
旅費交通費(事業)	2,920	1,099,469	4,739,979	5,842,368	2,744,884
車両燃料費					1,211
車 両 費(事業)		130,760		130,760	
通信運搬費(事業)	200	257,078	1,292,203	1,549,481	713,950
消耗品 費(事業)		470,535	1,372,066	1,842,601	2,308
図書購読費(事業)		634,500	183,056	817,556	
修 繕 費(事業)			148,570	148,570	
水道光熱費(事業)			27,926	27,926	510,468
リース料(事業)			430,350	430,350	365,528
地代 家賃(事業)			870,800	870,800	457,480
賃 借 料(事業)		516,098	2,321,291	2,837,389	1,115,618
広告宣伝費					416,330
新聞図書費					21,970
保 険 料(事業)		14,425	35,240	49,665	42,396
諸 会 費					184,000
租税 公課(事業)	641	20,400	2,553,500	2,574,541	13,550
研 修 費			46,000	46,000	
支払手数料(事業)	1,260	32,386	108,831	142,477	157,700
支払助成金		1,500,907		1,500,907	
支払寄付金		8,241,890		8,241,890	11,230
管理諸費					289,800
支払利息					56,003
雑 費(事業)	9,760	4,800	11,487	26,047	253,766
その他経費計	1,469,695	23,035,409	29,653,282	54,158,386	8,037,837
経常費用計	1,469,695	29,702,713	58,621,587	89,793,995	20,347,510
当期経常増減額	305,179	12,347,827	6,415,411	19,068,417	△ 18,407,446